2026年11月27日
ソニー銀行株式会社

2026年夏休みの旅行を振り返るアンケート調査結果のお知らせ

夏休み旅行先でのキャッシュレス利用率は国内外とも9割超、
今後の旅行費用の上昇を6割超が不安視

ソニー銀行株式会社（代表取締役社長：南 啓二／本社：東京都千代田区／以下 ソニー銀行）は、お客さまに2026年夏休みの旅行を振り返るアンケート調査を行いましたので、お知らせします。

調査概要

対象：ソニー銀行に口座をお持ちのお客さま5,128名
調査期間：2026年9月30日（水）～2026年10月14日（水）

参考調査

前年調査：2025年夏休み旅行費用に関するアンケート調査結果のお知らせ
ソニー銀行に口座をお持ちのお客さま3,240名を対象に2025年9月30日（火）～2025年10月14日（火）実施
夏前調査：2026年夏休み旅行に関するアンケート調査結果のお知らせ
ソニー銀行に口座をお持ちのお客さま5,276名を対象に2026年6月1日（月）～2026年6月15日（月）実施

調査結果サマリー

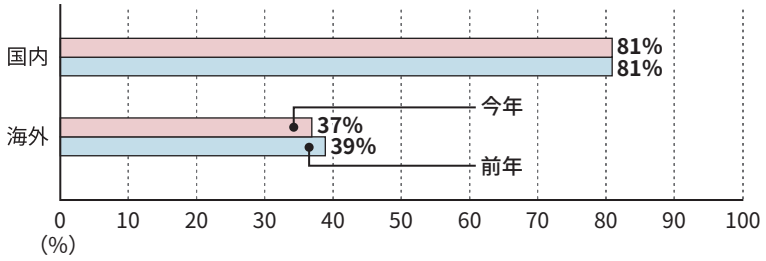
- 今年の夏に1泊以上の旅行をしたかたは91％。旅行したかたのうち国内旅行は81％、海外旅行は37％に。前年と比べ、国内は同水準、海外は2ポイント低下。海外の渡航先はヨーロッパが最多となり、北米、ハワイとともに前年から上昇し、長距離方面への渡航が増加傾向に。
- 国内旅行費用は、昨年と同様「5万～10万円」が最多の33％。海外旅行は、「30万～100万円」が45％を占め、依然として高額帯の回答が多い結果に。
- 旅行で最も費用をかけた項目は、国内では「宿泊」が51％で前年と同水準、海外では「交通」が43％で前年から9ポイント上昇。費用を抑える工夫は、国内では宿泊・移動費、海外では外食や食事の見直しが中心となり、国内・海外で節約方法に違いがみられる結果に。
- 旅行先でのキャッシュレス利用は国内・海外とも9割超。海外ではデビットカードが54％で最多となり、海外旅行者の62％が Sony Bank WALLET を利用。なお、今年の夏の旅行は88％が「満足」と回答。
- 次回旅行は58％が年内を予定する一方、次回旅行で不安なことは「旅行費用の上昇（宿泊、交通）」が63％で最多。「現地物価の上昇（買い物、飲食）」52％、「為替の動向（円安が進むこと）」43％が続き、旅行意欲を維持しながら費用負担を強く意識する結果に。

TOPICS1

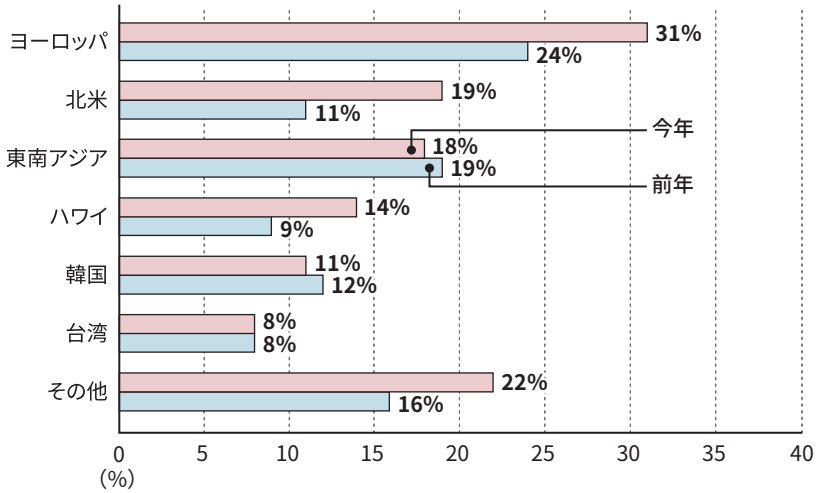
今年の夏に1泊以上の旅行をしたかたは91％。旅行したかたのうち国内旅行は81％、海外旅行は37％に。前年と比べ、国内は同水準、海外は2ポイント低下。海外の渡航先はヨーロッパが最多となり、北米、ハワイとともに前年から上昇し、長距離方面への渡航が増加傾向に。

対象者5,128名のうち1泊以上の旅行をしたかたは、4,661名（91％）でした。旅行したかたのうち、国内旅行が81％と前年と同水準。海外旅行をしたかたは37％で前年の39％から2ポイント低下しました。海外の渡航先はヨーロッパが31％で最多となり、前年の24％から7ポイント上昇しました。また、北米やハワイも前年から上昇しました。一方、東南アジアや韓国は前年から低下しています。海外旅行者全体の割合はやや低下したものの、渡航先を遠方へ広げる動きがうかがえます。なお、夏前の6月の調査では、夏の旅行先に海外を予定・検討していたかたの割合は23％でしたが、実際に海外旅行をしたかたの割合はこれを14ポイント上回りました。

今年の夏（7/1～9/30）に1泊以上した旅行先
※複数回答可



今年の夏（7/1～9/30）に1泊以上した旅行先（海外）
※複数回答可



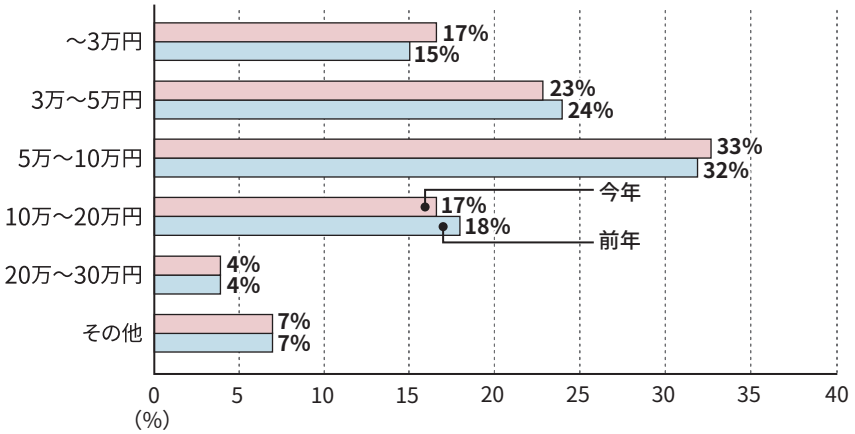
TOPICS2

国内旅行費用は、昨年と同様「5万～10万円」が最多の33％。海外旅行は、「30万～100万円」が45％を占め、依然として高額帯の回答が多い結果に。

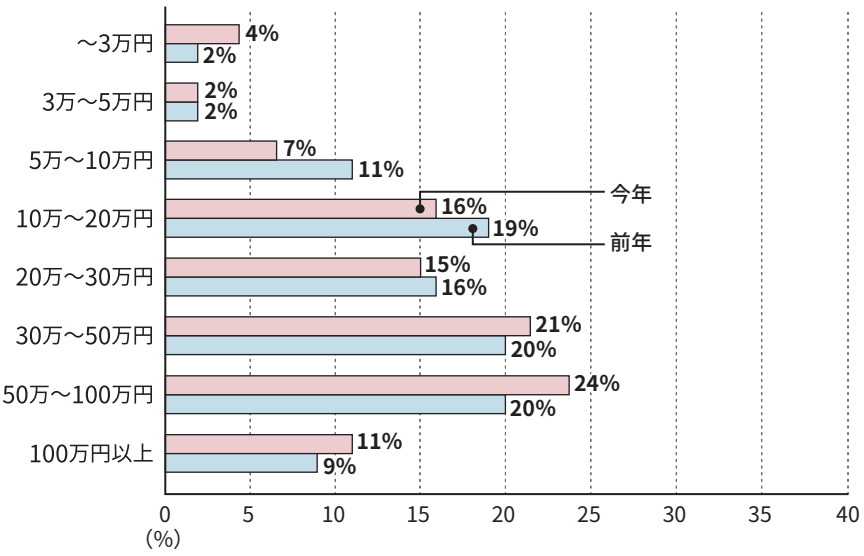
1回あたりの国内旅行費用は「5万～10万円」が33％で、前年の32％から1ポイント上昇し、引続き最も多くなりました。国内旅行の費用構成は前年とほぼ同水準でした。

海外旅行では「30万～50万円」が21％、「50万～100万円」が24％で、合計45％が30万円～100万円と回答し、前年の40％から5ポイント上昇しました。「100万円以上」も11％と前年から2ポイント上昇し、海外旅行費用は高額帯へシフトしました。ヨーロッパ、北米、ハワイなど長距離方面への渡航増加に加え、交通費や現地物価の上昇が背景のひとつにあると考えられます。

1回の旅行費用（国内旅行）



1回の旅行費用（海外旅行）



TOPICS3

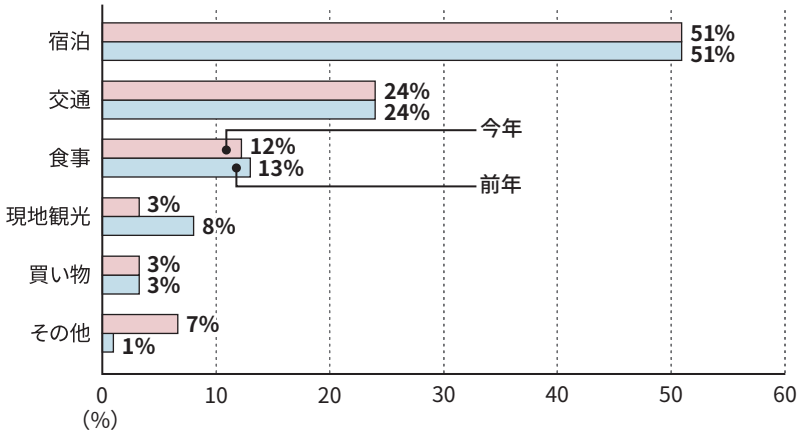
旅行で最も費用をかけた項目は、国内では「宿泊」が51％で前年と同水準、海外では「交通」が43％で前年から9ポイント上昇。費用を抑える工夫は、国内では宿泊・移動費、海外では外食や食事の見直しが中心となり、国内・海外で節約方法に違いがみられる結果に。

国内旅行で最も費用をかけた項目は「宿泊」が51％で前年と同水準、「交通」も24％で横ばいとなり、宿泊を重視する傾向が続きました。

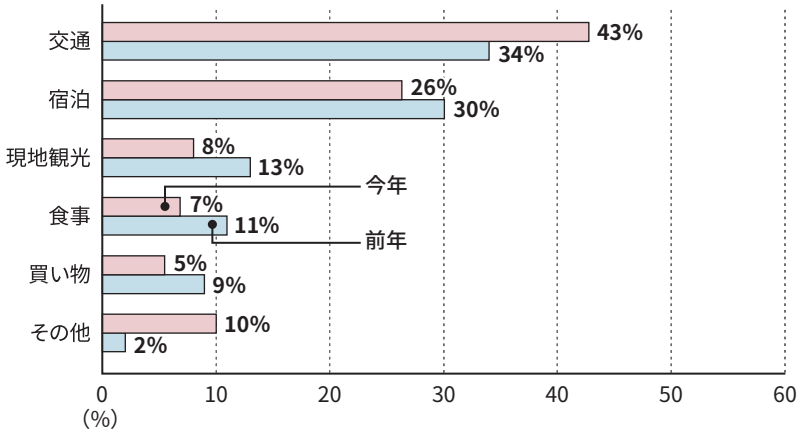
海外旅行では「交通」が43％と最多で、前年の34％から9ポイント上昇しました。一方、「宿泊」「現地観光」「食事」は前年から低下しており、長距離方面への渡航増加を背景に、支出が交通費へ集中したことがうかがえます。

費用を抑える工夫は、国内では「ホテルのグレードを抑えた」が22％で最多となり、「移動手段を変更・乗り継ぎなどで工夫した」「マイルやポイントを利用した」が各16％で続きました。海外では「外食の回数を減らした」が22％で最多となり、「食事のグレードを抑えた」も16％となるなど、食事面を見直す傾向が強まりました。

旅行先で1番お金をかけたもの（国内）



旅行先で1番お金をかけたもの（海外）



旅行費用を抑えるために工夫したこと（国内）

回答内容	割合
ホテルのグレードを抑えた	22%
移動手段を変更・乗り継ぎなどで工夫した	16%
マイルやポイントを利用した	16%
旅行先での買い物を減らした	13%
日程を短くした	10%
外食の回数を減らした	8%
食事のグレードを抑えた	8%
行き先を変更した	4%
その他	7%
特になし	31%

旅行費用を抑えるために工夫したこと（海外）

回答内容	割合
外食の回数を減らした	22%
ホテルのグレードを抑えた	19%
移動手段を変更・乗り継ぎなどで工夫した	17%
マイルやポイントを利用した	17%
食事のグレードを抑えた	16%
旅行先での買い物を減らした	16%
日程を短くした	6%
行き先を変更した	4%
その他	5%
特になし	27%

TOPICS4

旅行先でのキャッシュレス利用は国内・海外とも9割超。海外ではデビットカードが54%で最多となり、海外旅行者の62%が Sony Bank WALLET を利用。なお、今年の夏の旅行は88%が「満足」と回答。

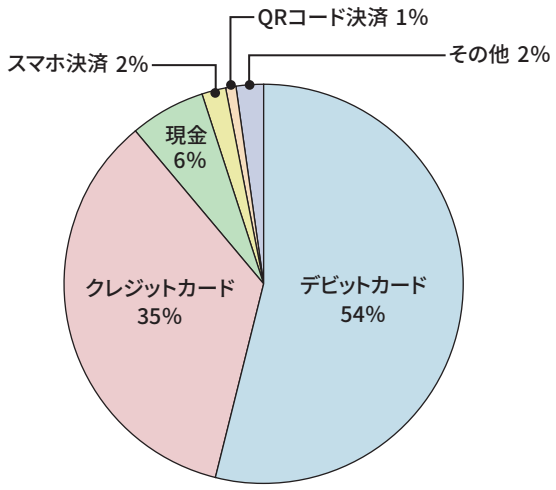
海外旅行先でのキャッシュレス決済の利用は92%にのぼり、国内旅行でも同様の結果となりました。旅行先を問わず、キャッシュレス決済が主要な支払手段として広く利用されていることがうかがえます。

海外旅行でのメインの支払手段は、デビットカードが54%で最も多く、クレジットカードが35%で続きました。両者を合わせると89%となり、海外ではカード決済が中心となっています。

海外でキャッシュレス決済を利用する理由は、「現金を持ち歩かなくて済むから」が81%で最多となり、「両替の手間が省けるから」62%、「支払がスピーディだから」58%が続きました。現金管理の負担軽減に加え、両替や支払の手間を省ける利便性が重視されていることがうかがえます。また、海外旅行をしたかたの62%が現地で Sony Bank WALLET を利用しました。

旅行満足度は「大変満足」41%、「満足」47%で、合計88%となり、旅行費用や為替への不安がある中でも、多くのかたが旅行に満足した結果となりました。

旅行先でのメインの支払手段（海外）

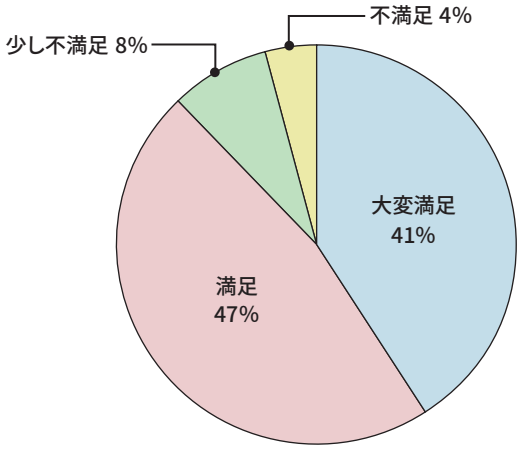


※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

キャッシュレス利用理由（海外）

回答内容	割合
現金を持ち歩かなくて済むから	81%
両替の手間が省けるから	62%
支払がスピーディだから	58%
為替レートが有利だから	35%
紛失や盗難の際に補償されるから	29%
ポイントやマイルが貯まるから	24%
家計管理がしやすいから	9%
その他	4%

2026年夏の旅行満足度

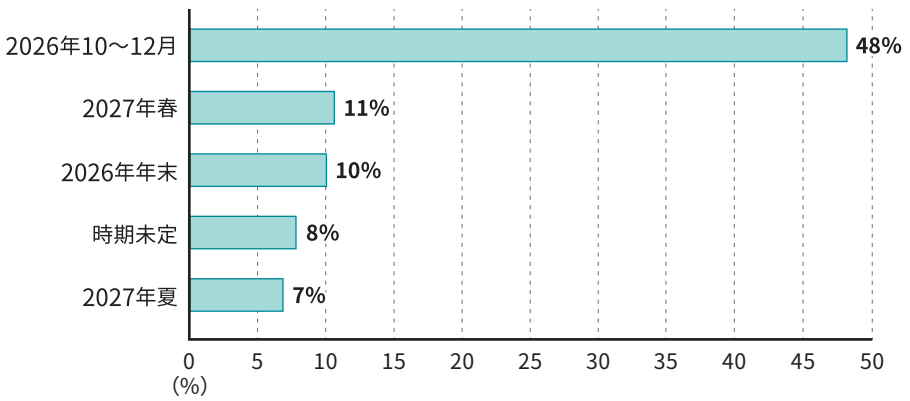


TOPICS5

次回旅行は58%が年内を予定する一方、次回旅行で不安なことは「旅行費用の上昇（宿泊、交通）」が63%で最多。「現地物価の上昇（買い物、飲食）」52%、「為替の動向（円安が進むこと）」43%が続き、旅行意欲を維持しながら費用負担を強く意識する結果に。

次回旅行の予定時期は「2026年10～12月」が48%で最も多く、「2026年年末」10%を合わせると、年内の旅行を予定しているかたは58%となりました。一方、次回旅行で不安なことは「旅行費用の上昇（宿泊、交通）」が63%で最多となり、「現地での物価上昇（買い物、飲食）」52%、「為替の動向（円安が進むこと）」43%が続きました。交通費や宿泊費に加え、現地での買い物・飲食や円安の影響など、旅行に関わる費用全般への不安が大きい結果となっています。

次回旅行の予定時期
※複数回答可



次回旅行で不安なこと
※複数選択可

回答内容	割合
旅行費用の上昇（宿泊、交通）	63%
現地での物価上昇（買い物、飲食）	52%
為替の動向（円安が進むこと）	43%
天候不良や自然災害	30%
現地の治安	24%
観光地の混雑	17%
現地でのお金の管理（紛失、盗難、使い過ぎなど）	12%
特になし	9%
その他	2%

Sony Bank WALLET について

日本円や米ドル、ユーロなど11通貨に対応しており、円はもちろん貯めた外貨を「外貨のまま」世界で使えるという点が評価されています。
11通貨以外でも世界200以上の国と地域のVisa加盟店で利用でき、海外ATMで現地通貨を引出すことが可能です。国内でのご利用では最大2%のキャッシュバックがあることもご好評いただいています。
今回のアンケートでは、海外旅行者の約6割が現地で Sony Bank WALLET を利用したと回答しており、利便性を感じて選ばれていることがうかがえます。
https://sonybank.jp/products/sbw/



あなたに、国境なきマネーライフを。

ときに円のような親しさで、円以上に心強く。
それが外貨のあらたな見方。外貨はあらたな味方です。
増やすとき、使うとき、始めるとき、大切なあなたのお金に、
グローバルな豊かさを。

以上

お問い合わせ先
ソニー銀行株式会社　経営企画部 広報・サステナビリティ推進室
〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号　Tel：03-6832-5903　E-mail：press@sonybank.co.jp
ソニー銀行PR事務局　株式会社アンティル：小田・三谷
〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ14階　Tel：03-5572-6081　E-mail：sonybank@vectorinc.co.jp